

---

# アナザーワールド

アルティメット

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

アナザーワールド

### 【Nコード】

N9205J

### 【作者名】

アルティメット

### 【あらすじ】

特に説明はしない……

読めばわかる……

そんなお話……

001話 『電話』

「ああ……暇だ」

今時計は22時24分を指している

そして明日は日曜日だ

しかし、俺には今やるべきことがまったく無かった

寝ればいいではないかと思うだろう

だが、俺は寝ない

睡眠は貴重な時間を無駄にする

適量な時間さえ睡眠をとれば事足りるからだ

だから俺は早く起きる必要のない土曜日の夜は24時ぐらいいまで起きていることにしている

しかし

暇なのだ

やることが無い

まったく無い

ゲームはすでに全部クリアしているし

本も溜め込んでいたもの全てを読破してしまった

テレビもくだらない番組ばかり

とにかく現在暇を持って余している状況なわけだ

どうやってこの状況を打破するか

しばらく考える必要があるそうだし……

クリアしたゲームを最初から……

違うな

じゃあくだらないテレビでも見ているか……

それこそ時間の無駄か……

うん

そうだ

思い出した

そういえば先程本を読んでいるときに優奈からメールがあったんだ

確か面白いサイトを見つけたと

どうせ暇だし、無視していたのでこの暇な時間を埋めるために付き合っただけのものも悪く無い

アルバイト代の大半を使い勝った俺の自慢のパソコンで見てやることにしよう

さすが俺自慢のパソコンだけあって起動も早い

メールに書かれていたURLをパソコンのフリメに送っている間にすでに起動が完了している

すぐさまパソコンのメールをチェックし優奈指定のサイトにつながる  
なになに

タイトル

『超能力の世界』

ほほう、なにやら面白そうだ

ゴシック体でかかれたタイトルの下には小さな文字でこう書かれている

ようこそ我々の世界へ

よくきたね…… 日常を望まなければ招待状を発行しよう

なるほどなるほど

で、この下の発行するのボタンを押せばサイト内に入れるわけだ

もちろん俺は発行するのボタンを押してやる

すると画面が一瞬暗くなりNow Loadingという文字とともにバーが現れたなにやらロードしているらしい

そのバーが100の数値をしめすとまた一瞬暗くなった

その後訳のわからない動画が再生し始められる

白いフラッシュなどがたかれたり

蒼いフラッシュがたかれたり

幾何学模様がぐるぐる回っていたり

色の無い知らない街が浮かんだり

とにかく訳のわからない方向性もよくわからない動画が流れ出す

一分ぐらい見ていただろうか

画面の変化が終わりを告げた

真っ暗な背景の中央に白い文字がフェードインし始める

『最後まで見てくれてありがとう、これで君はこちらの世界の住人だ。どんな能力かは未知数。しかし、楽しんで貰えるとは思っている。だつて、それを君が望んだんだから』

という文字が浮かび上がる

まだ文字は続く

『最後に』

『ようこそ、アナザーワールドへ』

その文字が消えるとなぜか自動でインターネットのブラウザも閉じてしまった

これだけかこのサイト？

面白くなかった訳ではない

だが面白くも無かった

しかも意味深な文字を残し強制終了と来たもんだ

なんか頭の中がもやもやする

そんなもやもやを残しながらとりあえずベッドに倒れ込む

ふう〜

暇だ

改めて暇を実感

優奈オススメのホームページは思いの外早く見終わってしまったし、頭のもやもや感のせいでもやもやする気が起きない

まあもともとやる気があった訳ではないがとにかく脱力がハンパないのだ

とりあえず、優奈に一言文句でも言っておくか

そう思った俺は携帯電話を充電器から取り出すために手を伸ばす

丁度指先が触れると同時にぐらにその携帯電話から聞き慣れた歌が流れ出し始めた

この音は電話だ

だれからだ？

携帯の液晶を確定するとそこには『霧島優奈』の文字が

なんだ、優奈か手間が省けて丁度良い

「もしもし」

「おっ……めでとお！！」

「は？」

電話ごしにはやたらハイテンションの優奈がいた

しかもなにやらおめでとうと言ってくれた

「だってさ、だって、だってなんだよ」

やはりハイテンションだ

「どうしたんだ？とにかく落ち着け」



しばらく沈黙

あちらで深い深呼吸をしているのが電話にかかった息でわかる

「で、何がおめでたいんだ？」

「えっ？だって超能力だよ超能力！！」

「超能力って？」

「あれれ？メール来なかった？」

「メールって？」

優奈からのメールだろうか？それ以外心当たりが無い

「そっか、じゃあまだなんだね」

「まだってなんだよ」

「それは後のお楽しみかなっ」

なんだかいちいち焦らしてくれるな

「ん〜じゃあさ、明日日曜日だし合わない？どうせ暇でしょ」

「まあ暇といえば暇だが」

「じゃあ決まり！いつもの公園に10時集合でっ」

「……わかった」

訳がわからないまま明日の予定が決定してしまった

どうせ暇だしいいんだが

あのハイテンション状態

なにか気になるな

## 002話 『メール』

しかし、なんで優奈はあんなにテンションが高かったのだろうか？

しかも超能力とか言ってたな……

おめでどうとも……

なんだかさっぱりわからん

とにかく、明日の予定が決まったわけだから今日はもう寝よう

携帯電話を充電器におこうとしたその瞬間

また携帯から音楽が流れ出す

先程とは違う曲なので電話ではなくメールだということがわかる

「メール？だれからだ」

メールタイトルはこうだ

スキル名『フレーム』その使用方法について

優奈の言っていたメールとはこれのことだろうか？

アドレスはもちろん知らないアドレスからで優奈のアドレスではない

どういうことだろうか？

まったく意味がわからない

優奈の悪戯にしては手の込んだ悪戯だし、あいつはこんな回りくどい悪戯なんてしないタイプだ

もう一度アドレスを確認してみる

すると、なんとなくではあるが心当たりが浮かんだ

アドレスは

another-world

となっていたから

ということはだ

あのホームページの関係者が何かということだろう

なぜ俺のアドレスを知っている？

しかもこのタイミングで送られて来るといっても、優奈からの電話さえ無ければ動画を見終えた直後となる  
なぜこのタイミングがわかった？

偶然か？

## 003話 『内容』

偶然にしては出来過ぎている

俺がああの動画を見終わるタイミングなどはわからないはずだし

優奈の電話自体もタイミングが良すぎた

まあそのあたりはどうでもいい

いらぬメールであれば拒否すればいいし、それよりもこのメールの内容が気になっていた

スキル名『フレーム』

レア度

攻撃性能

防御性能

現在Level 1

現在ランキング

15362位

無の状態から火や炎を作り出せることができる能力です。最初は指先で炎が揺らいでいるイメージをしていただけると簡単に能力の使用のコツをつかんでいただけのことかと思えます。

能力を付加したと同時に炎への耐久力が上昇しております。少量の火であれば熱いと感じなくなっているはず。自らの炎により火傷することはございません。

実界での使用はできるかぎり控えてください。また、一般人への使用は固く禁じます。対インストーラー用の能力だとお考えください

最後に

アナザーワールドへのご参加有難うございます。

これからの人生はいままでの人生とはガラッと変わった人生になる  
ことでしょう

生まれ変わったあなたを存分にお楽しみくださいませ。

アナザーワールド

運営管理局 局長

というのがメールの全容だ  
なんだこれは？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9205j/>

---

アナザーワールド

2010年10月28日03時39分発行